

http://www

# Happy-Hamakan-News (HHN)

浜医看護学発 第8巻 第3号

2021年 冬号

浜田医療センター附属看護学校

67期生(3年生)卒業式・・・1P～2P

67期生老年看護学実習Iを終えて・・・4P

国家試験対策を受けて・贈呈式・・・6P

69期生(1年生)ナースングセレモニー・基礎看護学実習I(その2)・・・8P～10P

67期生(3年生)看護を語る・・・3P

学生自治会活動・・・5P

NHO 就職説明会・・・7P



67期生(3年生)卒業おめでとうございます!

独立行政法人国立病院機構  
浜田医療センター附属看護学校  
TEL0855-28-7788

〒697-8512 島根県浜田市浅井町 777-12

mail : [kanri-t@hamakan.nh.jp](mailto:kanri-t@hamakan.nh.jp)

—「資料請求」は公式HPから—

[https://hamada.hosp.go.jp/kango/index\\_00001.html](https://hamada.hosp.go.jp/kango/index_00001.html)

※その他ご不明な点などありましたら、お気軽にお問い合わせください。



スマホを  
ご利用の方は  
こちらから

発行責任者  
編集責任者  
編集

飯田博  
花子紀子  
隈部直子  
崎本美子  
山岡 富美香  
前田こずえ  
三家本八千代  
岩本悦子  
金山和正

畑中美保  
平田洋子  
岡本諭  
尾川ひとみ  
岩成美樹  
木屋佳奈恵





## ～67 期生(3 年生) 卒業式～



### 式辞

本日、卒業式を迎えられた第 67 期生 35 名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、本日のご出席はご遠慮いただくことになりました保護者の方々や、ご支援をされてこられた皆さまにもお祝い申し上げます。昨年と同様に、新型コロナウイルス感染拡大のため、今年度の卒業式もこのような制約のもとでの開催になりました。本来ならこの場でも喜び、皆さんが感謝の気持ちを伝えるべきご家族や来賓の方々に祝福されて、開催するはずでしたが、それがかなわず、皆さんには大変残念で申し訳なく思っています。本日、卒業の日を迎えることができたのは自分自身の努力はもちろんのことですが、ご家族をはじめ周囲の方々の応援や支援があったからです。このことをどうぞ忘れないでください。卒業を迎え、みなさんの一人一人の胸の中には、学生生活の様々な思い出が去来しているのではないのでしょうか。

3 年前、皆さんは看護師を夢見て期待に大きく胸を膨らませ入学しました。学校と医療センター、そして他の実習施設で医学や医療、そして看護について学んできました。しかし、2 年生になってからは新型コロナウイルス感染拡大のため、多くの制約が生じました。学校行事がほぼ全て中止となり、実習も制限され、授業もオンラインによる遠隔授業になりました。これまでに経験したことのないことばかりでした。楽しかったことより、辛かったこともたくさんあったことでしょう。しかしそうした学校生活の中で、附属学校での出会いや、経験した全てのことが、今の皆さんの力になっているはずです。どんな些細なことも無駄になっていることはひとつもありません。この 3 年間で、皆さんにはきっと看護師の資質としての、「コミュニケーション力」、「感じる力」、「考える力」などといった附属看護学校の伝統を、学校生活を通じて身につけ、受け継いでいると思います。また、ノンフィクション作家の柳田邦男は、「医療者は 2.5 人称の視点が大切」と言っています。第三者としての医療者の視点と、家族としての視点を併せ持つことで、患者さんに最も近い存在として、医療と生活の両方の視点から、血の通ったあたたかな専門性を発揮できるようになると思います。年々医療環境は新たな段階へ移行しつつあります。少子高齢化社会を迎えた今日、急性期医療から介護・在宅までの連携をより重視し、地域包括ケアシステムの構築が推し進められています。地域で必要とされる安全・安心な医療を定期的かつ継続的に提供していくことができる体制の構築が進んでいます。「治す医療」から「治し、生活を支える医療」への転換により、病院での急性期医療は縮小され、むしろ生活支援のなかで医療がどのように関わっていくかが重要となりつつあります。しかし、医療を取り巻く環境がどのように変わろうとも、看護師としての皆さんの役割はますます重要になっており、病院のみならず、地域でのチーム医療の中心として広く社会から期待されています。そして、どのような領域であっても看護の本質は変わりません。皆さんの県西部の医療に携わることになる方には、後輩たちのためにも、地域から信頼される看護師として地域医療に貢献されることを強く望んでいます。

最後にわれわれ医療に携わる者の仕事の本質は「学び続けること」、「一人一人が「価値ある変化をし続けること」にあると思っています。そのため皆さんにも、本校の先輩方のように生涯にわたり学習する姿勢を持ち続けていただきたいと思っています。より専門的で、より治療に踏み込んだ技術や知識あるいは看護管理を習得し、キャリア・アップを図っていただきたいと思っています。国立病院機構も「理論と技術をもって創造し、行動する看護師」を育成することを目指しています。これから皆さんは社会に出て遭遇するであろう様々な困難や壁の前に、失敗を恐れず自分の可能性を信じてあきらめずに取り組み続けてください。こういう努力は、皆さんの未来を照らす明るい光となっていくはずです。皆さんが幸せで充実した人生を送られることを心より願い、式辞といたします。

学校長 飯田 博





## 答辞

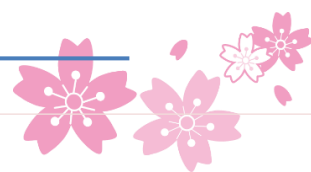
看護学校での3年間で最も印象に残っているのは、臨地実習も終盤となった3年の秋、看護の統合と実践実習Ⅱで遭遇した緊急入院の受け入れの場面です。入院要請の電話が入り「個室に緊急入院」という看護師長の声から、ナースステーションにいた看護師達は患者が重症であることを察し、すぐに看護師長のもとに集まり、入院される患者の状態を聞いて、あっという間に各々が分かれて患者を速やかに受け入れる準備を始められました。チームの迅速な対応を目の当たりにし、そこにいる看護師全員がこれから起きることについて瞬時にイメージし、他の看護師がすること、自分がすべきことが分かっておられるからこそチームとして動けるのだと理解できた時、看護師はすごいと思いました。そして学習を進めていくと、看護師は患者の状態を聞いて何を行うべきかをすぐに判断できる臨床判断能力と、行動する能力、チームワークが大切であることが分かりました。この緊急入院の対応を見学できたことで、看護師ひとりが患者に看護を提供するのではなく、チームとして協力し合い看護を提供するという考えを持つことができました。一人ひとりが主体的に行動を起こすことの大切さ、臨床判断能力とコミュニケーション能力が必要であることを学び、私もチームの一員として働くことができる看護師になりたいと思い、具体的な目標として掲げることができました。

3年前、私達67期生はそれぞれに想いを抱いて、ここ浜田医療センター附属看護学校に入学しました。私は大学を卒業後に上京してIT関係の仕事に就いていましたが、家族の闘病生活や祖父母の死を経験したことから、病と闘っている人を支えることができる看護師を目指すことを決め、Uターンし、今、ここにいます。私が優秀賞を戴くことができたのは、社会人となってから改めて看護師になることを決めた強い意志があったからだと思います。座学や演習、実習、それら全てが看護師になるために必要であると考え、1年次から真剣に学習に励んだことが、結果として成績につながったのだと思います。試験前にはわからないところを教え合ったり、返却された際は、お互いの点数を確認し合って喜んだり悔しがったりしました。切磋琢磨し学ぶ楽しさを改めて知ること、より看護師になる意欲を高めることができました。後輩の皆さんにも、学校で学ぶこと、経験することの全ては看護師になるために必要なことだと思い、頑張ってもらいたいと思います。そしてこの3年間、私を支えてくれたのは同級生です。私達はそれぞれに個性が強く、色々な場面で先生方を困らせることが多かった学年でしたが、「やればできる学年」と皆の思いが一致し、臨地実習をほとんど欠席せずに終えたことは全員の自慢です。そして、1年生2年生の後輩の皆さんには、コロナ禍により一緒に活動する機会が少なくなり、本来であれば先輩として指導や支援をすることができず申し訳ありません。入学前の私は、一回り以上年下の現役生たちとうまくやっていけるだろうかと心配でしたが、67期生の皆さんに受け入れていただき、その中で社会人を経験した自分の立ち位置や役割を見つけ、ともに3年間を過ごせたことで、自分自身の人間としての成長という、かけがえのない財産を得ることができました。

卒業まで見守ってくれた家族や私たちを支えてくださった教職員を始めとした多くの方々にも、改めて心からお礼を述べたいと思います。私達は今日、それぞれの理想を胸に、この学舎を巣立ちます。本校の卒業生であることを誇りとして、校歌にある平和への思いと久遠の愛を胸に刻み、これからも日々努力を怠らず精進していきます。

卒業生代表 横田晃一





## 看護師になる私へ 大切にしたいこと

3年生 河内 彩恵

私は筋硬直性ジストロフィー患者のAさんを受け持たせていただき、病室で一緒にテレビを見ていた時のことが忘れられない。食事の場面を観て、私は「このラーメン美味しそうですね。」と何気なく声をかけた。Aさんは、「確かにそうだね。」と言われたが、会話は続かなかった。その後、Aさんが誤嚥性肺炎を繰り返し自分の意志で胃瘻を選択し、口から食べることをやめているということが分かった。胃瘻を造設する前のことについて「売店でパンとジュースを買って食べたんだ。コーラが好きで良く飲んでたよ。」と言われ、現在口から食べることはできないことについては、「以前は悲しくて涙が出たけど、今は何も思わない。」と言われ、私は何と声をかけてよいのかわからず、何とも言えない気持ちになった。出来ていたことが徐々にできなくなるということは、とても辛いことだということが分かった。

一般病棟の実習で受け持たせて頂いた患者様は、治療により症状が改善し現状維持ができていた。しかし、すべての患者様が回復をするのではないということ、疾患によっては徐々にできることができなくなってしまうことが分かった。患者様が今どんなことに困っているか、どんなふうに生活したいのかを聴き、少しでも困っていることが少なくなり、安全に生活できるように看護することが大切であると感じた。

これから看護師になるうえで大切にしたいことは、患者様の残存機能を正しく把握して、できることとできないことを判断し、患者様のADL（日常生活動作）が維持・向上できるように援助していくことである。実習中にも心掛けていたように、患者様が出来る事を把握して声かけをすることや、できたことに対して認める声かけを行うことを大切にしていきたい。また、看護や医療の現場は常に進歩しているため、日々学習していくことが大切だと思う。新しい知識や技術を吸収して、様々な患者様のニーズに対応できるようにするために学び続ける姿勢と努力をこれからも大切にしていきたい。患者様の安全を守るために、一つ一つの業務をきちんと理解しルールを守り、責任感をもって業務に就いていきたい。



## ～67 期生（3 年生） 老年看護学実習 I を終えて～

### 「老いを生きる」

3 年生 中尾 光璃

老年看護学実習 I では、地域で生活する高齢者の方とお話する中で、高齢者の方は老いを感じている方が多いことから、健康に対しての意識が強く、様々なサービスやシステムを使いながら、老いていく中でも、健康に過ごしていきたいという気持ちを持っておられる姿が多くあった。そして、地域とのつながりの中から、サロンやデイサービスなどへみんなが通い、笑いながら話したり、その中での役割を見つけていくことが最大の介護予防となり、このような地域のつながりは、生きるための 1 つの方法であると考えられる。生きてきた時代背景や暮らしてきた背景、生い立ちは、その方の価値観を作り上げる。価値観というものは、人それぞれであるが、「こんな考え方もあるのか」と理解する姿勢を持つことで、今の私が体験することができないことを知ることができた。老いを生きるとは、身体的・精神的・社会的に様々な機能が低下していく中で、サービスやシステム、施設を活用し、地域で生活する人々とのつながり合うことが、より良く生きていくことだと考える。



老年看護学実習 I で学生にご指導をいただいた方、地域包括ケアに携わっておられる方にご参加いただき、学びの発表と意見交換会を行いました。



### 「老いを生きる」

3 年生 横山 恵加

その地域で生活する方のバス移動の困難さを実感した。便数が少なく、料金も決して安くはない。加齢に伴い筋力の低下が生じている高齢者にとっては、バスに乗るといった動作も大変であるということを知った。自宅からバス停まで、バス停から次のバス停までの距離が長く、交通手段を考えて行動する必要がある。人口が少なく隣家が遠い。地域で生活する方は、人々と交流するためにサロンなどに参加されており、参加するという役割に対して達成感を感じておられ、継続することで健康寿命延伸につながっているということを知った。人々との交流やふれあうことは、自己の役割遂行により高齢者の望ましい生き方につながる。介護予防の視点で、その人らしく生きがいを持ち、意欲をもって生活することができるように関わっていく必要性を感じた。

## ～学生自治会活動～

### クリスマス会

2年生 北村 海月

私は行事運営委員として企画運営を行いました。今年度も感染予防のため、他学年と同じ場所で開催することはできず、接触を最小限とした企画を考えました。企画の目的は、『コロナ禍の中で患者さんのために一生懸命働いてくださる看護師さんに感謝の気持ちを伝え、クリスマスを少しでも味わってもらおう』です。各学年で清潔に取り扱うことを徹底しながら、マスクケース 364 個を一つ一つ心込めて作成し、1、2年生の代表が各病棟に贈呈に行きました。作成したマスクケースを私たちの目指す医療を支えている看護師さんに少しでも感謝の思いが伝わり、使ってくださいっていると嬉しく思います。

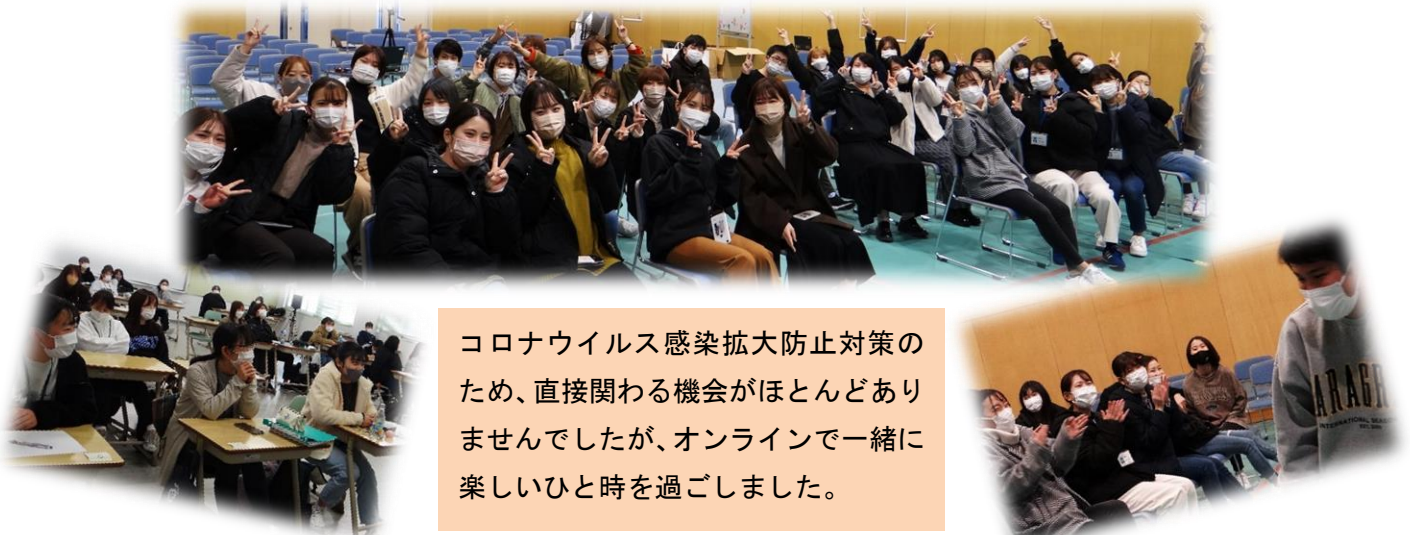


マスクケースを受け取り、喜んでくださった副看護師長さん・助産師さん

### 予餞会～3年生を送る会～

2年生 田中 希

3月3日に予餞会が行われました。今年は新型コロナウイルス感染予防の為、各学年、別々の教室で zoom を使った実施となりました。各学年それぞれが3年生に向けたメッセージ動画を作成し、視聴していただきました。また1・2年生から募集した質問について3年生の方々に答えていただきました。国家試験のことや実習のこと、3年間の思い出など様々なお話が聞けました。ここで聞いたアドバイスを活かして、これからの実習や国家試験に向けた学習を乗り越えていきたいと思えます。この1年、あまり3年生と関わる機会はありませんでしたが、最後に3年生の素敵な姿を見ることができて良かったです。



コロナウイルス感染拡大防止対策のため、直接関わる機会がほとんどありませんでしたが、オンラインで一緒に楽しいひと時を過ごしました。

## ～国試対策を受けて～

2年生 鎌田 ひかり

3月8日（火）に今年卒業された先輩が、1年生・2年生に向けて学習を進めていくうえで大切にされていたことをオンラインで聴く機会を設けてくださいました。その中で先輩がどのようにして国試に向けて乗り越えてきたか、具体的に教えていただきました。国試に向けての勉強については不安だけでしたが、教えていただいた勉強方法の中でも自分が覚えたい部分を紙にまとめ、自宅の壁に貼って覚える方法は私も取り組んでみようと思いました。全体で説明していただいた後、小グループに分かれて私たちからの質問に答えていただき、教えていただいた勉強方法を参考にして自分に合った勉強方法を見つけ、国試全員合格を目指して学年全体で頑張りたいと思います。



## ～贈呈式～

3月17日（木）に浜田ガス株式会社様、株式会社山陰合同銀行様より、SDGs 私募債（教育機関寄贈型）として、デジタルビデオカメラ1台、スイッチャー1台、三脚1台を頂きました。

コロナウイルス感染拡大防止対策により、自宅でオンライン講義や実習を受ける機会が多くなり、また、式典（入学式や卒業式など）も保護者様に来校していただくことができない状況が続いています。しかし、そのような中、オンラインのメリットを活かし、このような機材を上手に活用すると、より学習の理解が深まるとともに、式典に参加できない保護者の皆様にも普段とは違う目線から動画を視聴していただくこともできます。頂いた機材を大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



Challenge for  
**SDGs**

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
一人ひとりができることから始めよう。



写真左より

株式会社山陰合同銀行 頭取 山崎 徹 様  
浜田ガス株式会社 代表取締役 樋山 太介 様  
飯田学校長

## ～2021 年度 NHO 就職説明会～

2 年生 今田 珠恵

3 月 8 日（火）に、私たちの所属している NHO 中国四国グループ内の 8 つの病院について、オンライン形式による就職説明会を受ける機会がありました。

説明会では、病院のそれぞれの特色や新人研修で行われる具体的な活動などについて説明していただきました。私は病院それぞれ異なった特色があることを知りました。それと同時に、自分が興味を持っている分野や特色を持った病院に就職したいという思いが強くなりました。これからのインターンシップや病院見学では、今回説明して頂いた病院のうち、自分が興味を持ち、自分に合いそうだった病院に参加したいと思います。



2 年生はいよいよ最終学年となり、就職や進学先を決定する時期になります  
1 年生も真剣に聞いています！！

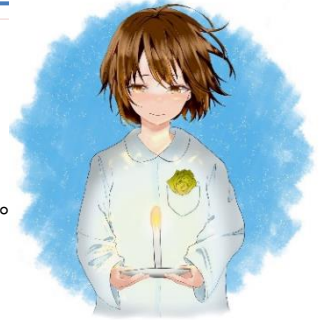


## ～69 期生（1 年生） ナーシングセレモニー～

つなぐ  
繋 ～思いを受け継ぎ支え合い共に学び続ける～

### 【誓いの言葉】

私達 69 期生は患者や家族に対して寄り添いながら、信頼される看護師を目指します。  
日々勉学に励み、互いに切磋琢磨しながら正しい技術と知識を身につけるよう努力します。  
患者の生命力の消耗を最小限にし、回復へと支援します。  
安心して治療を受けられる環境を作り、患者一人一人に合った看護を提供します。  
看護師としての倫理観や人間的優しさを大切に患者の気持ちを傾聴し、その心に寄り添います。  
私達 69 期生は看護師になるための決意を新たにし、その自覚と責任を持つことをここに誓います。



## ～69 期生（1 年生） 基礎看護学実習 I（その 2）～

1 年生 岩崎 寛大

当初は病棟で実習を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、学内で実習を行うことになりました。患者役は卒業生の先輩方にいただきました。この 1 年間学んできた技術を初めて患者様に実施するというので、とても緊張しました。僕の事例は胃がんの患者様でした。その方は病気などの不安により、夜よく眠れない方だったので、リラックス効果を促すために足浴を行いました。最初は中々上手にできませんでしたが、教員や卒業生、周りの同級生にアドバイスをもらい工夫しながら援助を行うことが出来ました。

患者様が安心して援助を受けられるようにするには、実施する側が、正しい知識と質の高い技術を身につけなければいけないと感じました。今回、経験から得た学びや自己の課題をしっかりと活かして、今後の病棟での実習でさらにより援助を行えるように頑張りたいと思います。2 年生になると、ますます勉強や実習などが増えてきますが、69 期生 48 名で力を合わせて頑張りたいと思います。

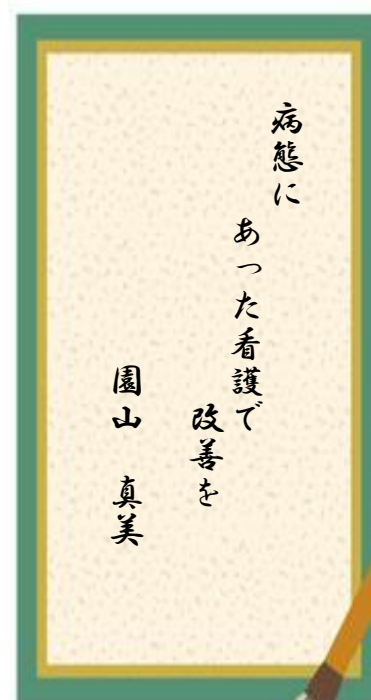
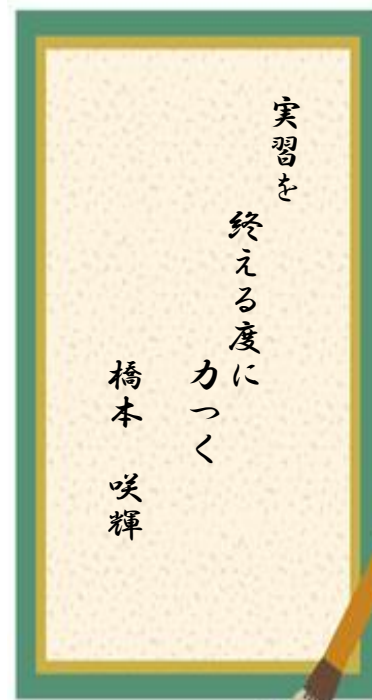
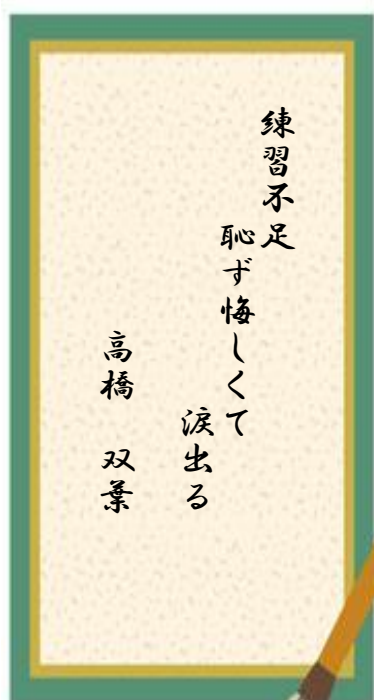
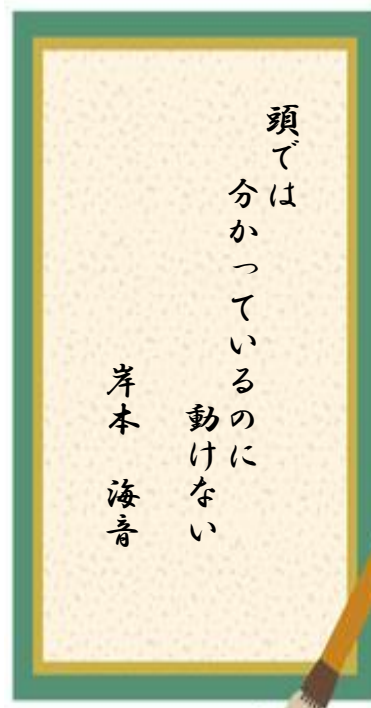
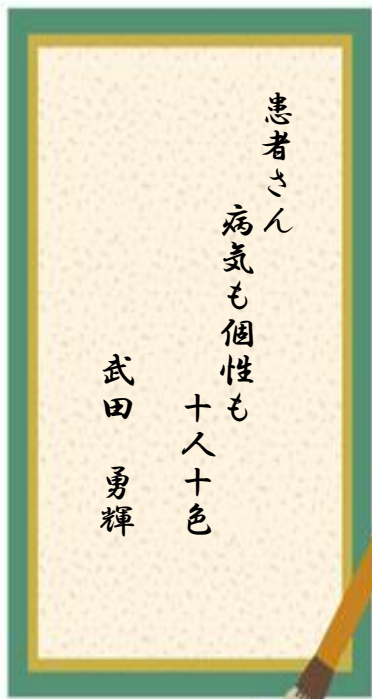
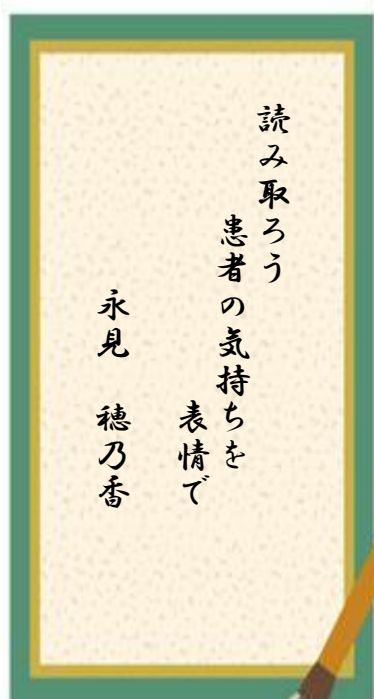
卒業した 3 年生が患者役をしてくださいました

お湯加減いかがですか？

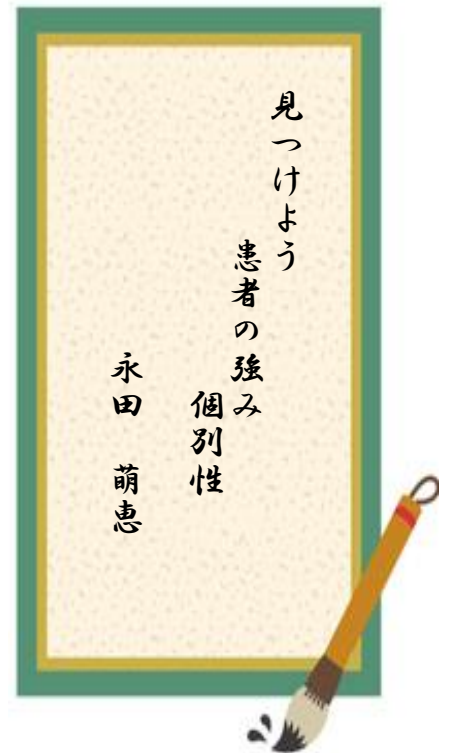
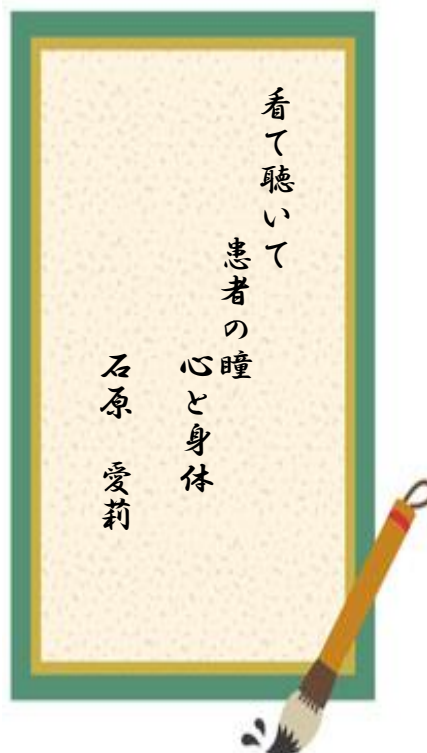
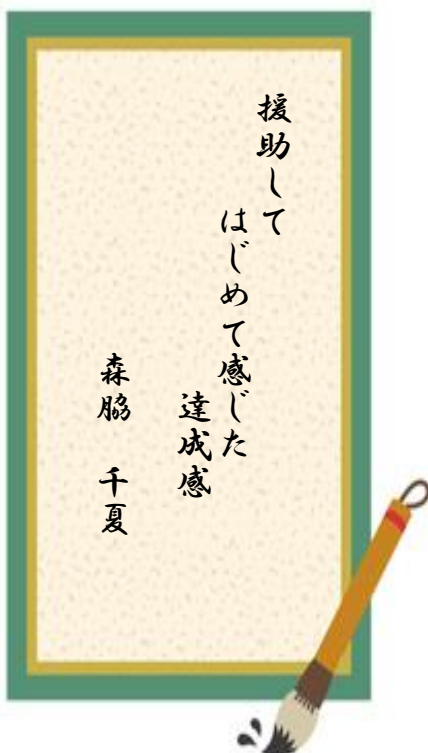
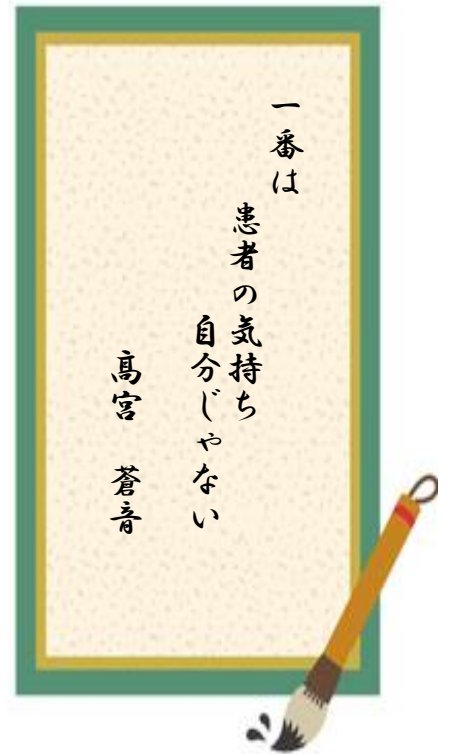
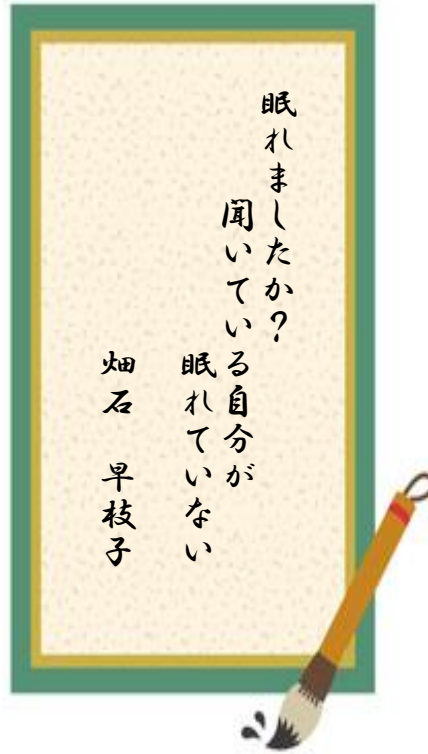
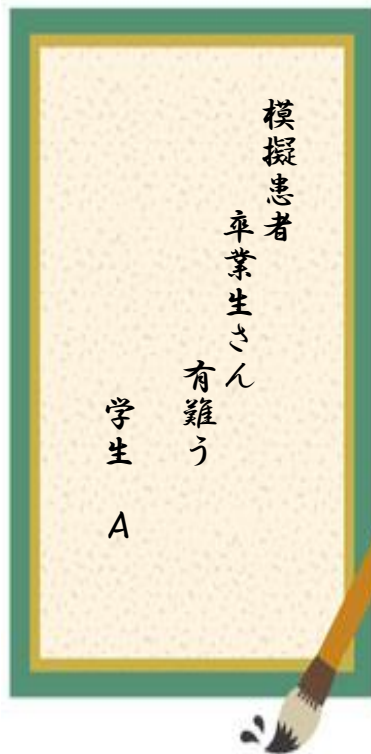


～69 期生 基礎看護学実習 I (その 2)～

2回目の実習が終わってもう一句！！



1月に予定していた基礎看護学実習Ⅰ(その2)は、コロナウイルス感染拡大防止のため、3月に延期され学内実習となりました。今回の実習は、入院している患者様に必要な日常生活援助を実践する実習でした。患者様役の卒業生に援助を実践し、自分の未熟さ、学習の必要性、さらなる技術の練習、患者様の反応から達成感を感じた実習になったようです。



## ～お知らせ～

浜田市立中央図書館内ゲート横にパネル展示しています！！



学校の様子を是非ご覧ください！！  
なお、2022年度の学校案内・募集要項ですが、設置しておりますのでご自由にお持ち帰りください。2023年度の学校案内と募集要項は6月以降に完成予定です。しばらくお待ちください。



管理栄養士

木屋佳奈恵の

ちょっと気になる食事の話

## 夏季オープンスクール開催予定！！

近づきましたら、ホームページにてお知らせします。  
なお、コロナウイルス感染拡大状況により変更する可能性もあります。  
詳細はホームページでご確認ください。

### Vol.3

### 天然のサプリメント！「大豆」



大豆にはアミノ酸やビタミン、不足しがちなカルシウムや食物繊維も豊富で栄養価がとても高く、中でも肉に匹敵するほどタンパク質が豊富に含まれており「畑の肉」と言われています。しかも、大豆に含まれるタンパク質は低カロリー・低脂質で、消化吸収率もよいこともポイントです。また、細胞の構成に欠かせない「大豆レシチン」や、抗酸化作用を持つ「大豆サポニン」、善玉菌のエサとなる「オリゴ糖」、女性にうれしい働きが期待される「大豆イソフラボン」など、健康を支える成分が沢山！体調を崩しやすいこの時期にピッタリなレシピをご紹介します。

### さつまいもと大豆の甘辛煮

#### ◆材料◆<2人分>

- ・さつまいも…半分(100g)
- ・大豆(缶詰めなどゆでたもの)…50g
- ・サラダ油…大さじ1

#### 【味付け】

- ・しょうゆ…大さじ1/2
- ・みりん…大さじ1/2
- ・酒…少々

#### ◆作り方◆

下準備…さつまいもは1cm角くらいのさいの目に切り、5分ほど水にさらす。

1. フライパンにサラダ油を熱したら、水気をしっかり切ったさつまいもを入れて炒める。
2. さつまいもに火が通ったら大豆を入れてフライパンを振りながら混ぜて味付けの調味料を入れる。
3. 沸騰してきたら混ぜたりフライパンを振ったりしながら、汁気が減るまで炒め煮る。

